

6月



南国署

6月中に南国警察署に届け出のあったおとし物は、つぎのとおりです。心あたりのある方は、遠慮なく署で確かめて下さい。場所名は捨得物所です。

- 4日 介良洋傘
4日 薦ケ池現金(200円)
7日 後免町万年筆
7日 久枝腕時計
22日 前浜自転車(男乗り)
25日 南国市内腕時計(男)
25日 後免町駅前自転車(女乗り)
27日 大堀現金
29日 宇田自転車(子供用)
30日 後免町自転車(男乗り)
7月 1日 前浜雨合羽上下
3日 住吉通り財布(現金在中)
7日 田村風呂敷(布地布中)
8日 南国電報電話局構内自転車(男乗り)

よみましょ・みましょ

農協ストアーでできる

新装なった三和農協



事務所が老朽し、手狭となったためかねて改築中であった三和農協は、このほど完成した。

事務所が老朽し、手狭となったためかねて改築中であった三和農協は、このほど完成した。三和農協は鉄筋二階建て、岩の農協も改築に着手しているなど、残りの各農協もつぎつぎ改築を計画している。

自衛官募集

防衛庁では、39年度第二次の二等陸士、同海士及び同空士を募集中です。

応募資格=満18才以上25才未満の男子
試験=簡単な学科試験と身体検査
募集期限=8月31日
ご希望の方は、市役所総務課または自衛隊高知地方連絡部へ申し出て下さい。

写真=新装なった三和農協正面(上)とストアー内部(下)



市医師団からみなさんに相談

破傷風の予防と

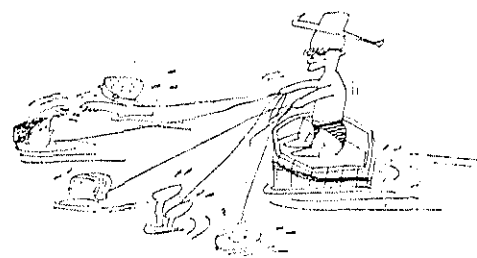
日曜休診

傷風を放逐でき、しかし、こういった、酒に由るリラックスは、有効な場合もあるが、アルコールがもととも興奮剤であるため、興にのって度を過ぎることも少なくない。そして、薬であるべき酒が医師の健康を損うことになる。日曜の午後から、月曜の朝までは、完全に医師であることからは解放していただけないものかというお願いである。そして、日曜休診の時の当番医を地区別に一名構えて、急病人はその医師が診療に従事するから、休日の午後は如何に懇意な相手でも患者の關係において接触することを止めていただきたい。こうやって、休日の午後を完全に休ませることも当番医をきめることによって防げるし、一石二鳥ではないだろうかと思う。このことについても皆様いろいろのお考えがあると思うが、ぜひお考えにのり、それらの名案をいただき、以上二つのことについて医師団から市民の皆様にご相談し上げたい。

西ヨーロッパ先進国では、破傷風は治療すべき疾患ではなく、予防すべき疾患である、言われて見ると、わが南国市においては、年々何人かの人が破傷風のために死んでいる。それで、私達は皆さんに、破傷風の予防接種をしたいと思うが如何でしょう。この注射は、一度やると、先づ終生効果があつたので、是非やりたい。その後は小学生になるたびに接種するようになります。夜酒のむことが多くなる。そして、緊張をときほぐすために家を留守にし、しかも医師各位がテンデンバラバラに休むので、急病が休日に行けると何処に行きか迷い、あたら貴重な生命までを失うことにもなったりする。そんなことをも当番医をきめることによって防げるし、一石二鳥ではないだろうかと思う。このことについても皆様いろいろのお考えがあると思うが、ぜひお考えにのり、それらの名案をいただき、以上二つのことについて医師団から市民の皆様にご相談し上げたい。

先覚者を招き勉強

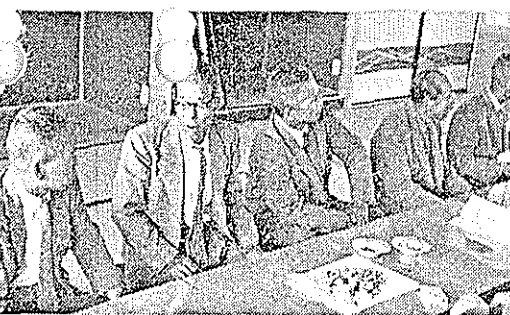
市の厚生課では、同和事業の参考にするためこのほど中央福祉館へ、部落解放と、部落民の地位向上のため努力した、中田金次さん(一)ら、先覚者十氏を招き苦しかった当時の思い出や、苦心談を聞いた。



監視人のいるところで泳ぎましょう。

すわ洪水

市消防団では、このほど南国警察署とともに国分川で夏期水防訓練を行なった。当日は、台風の影響により次第に国分川の水が増し、ついに危険水位をこし、堤防が決壊したという想定のもとに、古市部落民の避難訓練や、土の積みなど組織だった訓練を行ない、最後に南国署員によるボートをつかっつての、人命救助作業などの訓練も行なった。写真は南国署員の人命救助。



プロパンガスを設備の改善が必要

このほど高圧ガス取締法と、消防法が改正されました。営業用ガス設備、家庭用ガス設備ともに設置基準が定められ、つぎのように改善しないとガスを使用することができなくなりま



燃焼器具までは、普通のゴム管による配管は禁止され、鋼管もしくは、鋼管などの金属管、または、高圧ゴム管でなければなりません。以上のように改善されていない家庭は、早急にもよりのプロパンガス販売店に相談されて、安心して使用できるように設備を改善して下さい。

沢庵と家光

徳川も三代となると大平になれ將軍家光は美食にあきて何か美味いものはないかと考えていた。そこへ沢庵和尚が出仕してきたので沢庵何か美味いものはないかとたづねた。沢庵は明日私の庵に来てくだされば天下第一美味いものを出しますと聞いて帰っていった。家光は翌日になると早々に沢庵の庵に出かけて行った。沢庵はようこそお出下されたまづ一つぶくと茶に淹ればかりの菓子を用意して出した。それからいくら待っても沢庵も出なければ、喉うものは何一つ出ない。唇も過ぎてやつ頃ともなると、家光は空腹とたいくつでいららした。だがここでさわれば沢庵に笑われるとぐつとこらえて心算していると、漸く沢庵が現われ天下第一の食べ物には以外に時間がかりましたと、うす黄な丸い小さな切れを少々と一晩の飯を出してきた。家光は空腹のあまりとび付いて喰べた。うす黄色なものの美味いことまさに天下第一つびんである。家光がその味を忘れかねて沢庵にその時のうす黄色の物は何かとたづねた。もう一度喰べたいと頼むと、沢庵はからからと笑い、あれは大根漬(沢庵)でした。毎茶を飲んでいると何もうまくないが、空腹となれば大根漬でも天下第一美味くなりますと答えたので、家光はそれより質素な食事をとるようになった。

おことわり

山本議事事務局長のレレー随想は都合により次号へくり越しました。